



平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月26日

上場取引所 東

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社
コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部管掌 (氏名) 金子 正輝

TEL 03-6880-3851

四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	1,793	4.5	258	26.2	257	27.7	56	△40.0
26年8月期第2四半期	1,717	144.0	204	154.7	201	163.0	94	607.8

(注)包括利益 27年8月期第2四半期 100百万円 (115.2%) 26年8月期第2四半期 46百万円 (△42.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	5.70	5.67
26年8月期第2四半期	9.80	9.47

(注)当社は、平成26年4月19日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
27年8月期第2四半期	3,048		2,101	68.9	208.47			
26年8月期	3,007		2,021	66.8	203.32			

(参考)自己資本 27年8月期第2四半期 2,099百万円 26年8月期 2,010百万円

(注)当社は、平成26年4月19日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)27年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	5.4	550	52.0	510	39.5	232	38.7	23.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年8月期2Q	11,097,600 株	26年8月期	11,097,600 株
27年8月期2Q	1,026,800 株	26年8月期	1,209,800 株
27年8月期2Q	9,995,982 株	26年8月期2Q	9,688,758 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年9月1日から平成27年2月28日）につきまして、当社グループは、基本方針である「出前館の持続的成長」と「通信販売事業の体質強化とさらなる発展」に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。

12月9日には、IT分野において幅広く事業を展開する独立系システムインテグレータ企業である株式会社インテックと資本・業務提携契約を締結いたしました。出前館事業の持続的な成長のためには、スピーディなシステム構築・改修、ユーザビリティ向上、継続的なシステムインフラの増強と安定的な運用体制の維持が鍵となります。50年に及ぶ業歴と8,000社以上の顧客とのプロジェクトを通じて培った高度なICT技術を持つ同社との密接な連携により、様々な課題解決、機動的な取組みを行うことが可能になると考えております。

1月10日より、2014年3月に資本・業務提携契約を締結したタメコ株式会社が独自開発したAIアルゴリズムを活用し、レコメンドメールの配信を開始いたしました。会員・購買履歴データの分析により、「過去に注文した店舗の人気メニュー」や「類似属性ユーザー間で人気の高い店舗や商品」の紹介など、パーソナライズされたレコメンドメールの配信を行うことで、出前館の1会員あたりの利用回数及び注文単価の増加を企図しております。

また、1月16日から18日までの3日間限定で、出前館とそのサービス、加盟店の認知度向上を目的に、「出前館半額セール」を実施し、今回は、過去最大の27ブランド1,593店舗の店舗様にご参画いただきました。その結果、1月18日の日別オーダー数で「51,908件」を記録し、創業以来最高を更新いたしました。

通信販売事業においては、販売商品の集中化とオペレーションの効率化に取り組んだ結果、前第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益率5.0%に対して、当第2四半期連結累計期間では8.7%と着実に向上してきております。また、次の主力販売商品として、ワイン及び甲類焼酎のテストマーケティングを実施し、4月以降の販売開始に向けて準備を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,793,680千円（前年同四半期比4.5%増）、経常利益は257,658千円（前年同四半期比27.7%増）、四半期純利益は56,937千円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	135,888	7.9	138,208	7.7	2,319	1.7
オーダー手数料	489,724	28.5	576,248	32.1	86,523	17.7
広告収入	31,913	1.9	31,358	1.7	△555	△1.7
システム受託開発	—	—	34,814	1.9	34,814	—
その他	115,683	6.7	152,009	8.5	36,325	31.4
小計	773,210	45.0	932,638	52.0	159,427	20.6
通信販売事業	943,961	55.0	861,042	48.0	△82,919	△8.8
合計	1,717,172	100.0	1,793,680	100.0	76,508	4.5

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における会員数は約669万人を突破いたしました。また、加盟店舗数は11,812店舗、オーダー数に関しましては約506万件となっております。その結果、当第2四半期連結累計期間の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費138,208千円、オーダー手数料576,248千円、広告収入31,358千円、システム受託開発34,814千円、その他152,009千円、セグメント売上高は932,638千円（前年同四半期比20.6%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通信販売を行っております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、861,042千円（前年同四半期比8.8%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で68,864千円増加し、1,727,832千円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が13,529千円減少した一方、現金及び預金が38,603千円、未収入金が21,822千円、商品及び製品が12,064千円増加したこと等によるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で27,741千円減少し、1,320,718千円となりました。減少の主な要因は、ソフトウェア仮勘定が27,468千円増加した一方、のれんが57,210千円減少したこと等によるものであります。

以上により総資産残高は、前連結会計年度末比で41,123千円増加し、3,048,551千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で18,651千円増加し、705,323千円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が13,919千円減少した一方、未払金が42,206千円、賞与引当金が6,993千円増加したこと等によるものであります。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で57,883千円減少し、241,701千円となりました。減少の主な要因は、長期借入金が56,993千円減少したこと等によるものであります。

純資産残高は、前連結会計年度末比で80,356千円増加し、2,101,526千円となりました。増加の主な要因は、利益剰余金が32,569千円減少した一方、自己株式が78,315千円減少し、その他有価証券評価差額金が43,423千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,238,193千円となり、前連結会計年度末と比較して38,603千円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、235,752千円（前年同四半期は235,833千円の増加）となりました。主な増減の内訳は、仕入債務の減少13,919千円等の減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益162,166千円、減価償却費90,680千円、投資有価証券評価損益76,016千円、のれん償却額57,210千円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、130,347千円（前年同四半期は148,392千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、有形固定資産の取得による支出45,893千円、無形固定資産の取得による支出57,445千円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、66,714千円（前年同四半期は129,957千円の減少）となりました。主な増減の内訳は、長期借入金の返済による支出61,478千円、配当金の支払額49,046千円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の連結業績予想につきましては、平成26年10月14日の「平成26年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,199,589	1,238,193
受取手形及び売掛金	233,201	219,671
商品及び製品	48,693	60,757
未収入金	140,238	162,061
繰延税金資産	17,717	17,717
その他	28,657	39,287
貸倒引当金	△9,129	△9,856
流動資産合計	1,658,968	1,727,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,282	48,282
減価償却累計額	△17,415	△18,703
建物及び構築物(純額)	30,866	29,579
土地	64	64
その他	140,181	151,696
減価償却累計額	△116,609	△94,235
その他(純額)	23,571	57,461
有形固定資産合計	54,502	87,104
無形固定資産		
ソフトウェア	329,933	309,276
ソフトウェア仮勘定	25,256	52,725
のれん	422,762	365,552
その他	138	138
無形固定資産合計	778,091	727,692
投資その他の資産		
投資有価証券	433,667	423,843
差入保証金	38,827	38,419
繰延税金資産	37,625	13,579
その他	6,795	31,094
貸倒引当金	△1,050	△1,016
投資その他の資産合計	515,865	505,921
固定資産合計	1,348,459	1,320,718
資産合計	3,007,427	3,048,551

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	136,437	122,517
短期借入金	-	6,480
1年内返済予定の長期借入金	106,987	102,502
未払金	210,670	252,876
未払法人税等	110,986	108,381
賞与引当金	18,646	25,640
その他	102,944	86,923
流動負債合計	686,671	705,323
固定負債		
長期借入金	279,694	222,701
その他	19,891	19,000
固定負債合計	299,585	241,701
負債合計	986,257	947,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	664,400	664,400
利益剰余金	791,719	759,149
自己株式	△517,736	△439,421
株主資本合計	2,051,684	2,097,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△43,423	-
為替換算調整勘定	2,140	2,053
その他の包括利益累計額合計	△41,282	2,053
新株予約権	10,582	2,043
少数株主持分	186	-
純資産合計	2,021,170	2,101,526
負債純資産合計	3,007,427	3,048,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	1,717,172	1,793,680
売上原価	656,643	684,677
売上総利益	1,060,528	1,109,002
販売費及び一般管理費	855,958	850,759
営業利益	204,570	258,243
営業外収益		
受取利息	143	120
受取配当金	400	488
受取手数料	241	872
為替差益	536	-
その他	1,796	2,348
営業外収益合計	3,117	3,830
営業外費用		
支払利息	2,871	2,233
支払手数料	627	-
持分法による投資損失	1,694	1,276
その他	673	905
営業外費用合計	5,867	4,415
経常利益	201,819	257,658
特別利益		
持分変動利益	344	-
新株予約権戻入益	-	10,582
事業譲渡益	1,008	-
特別利益合計	1,353	10,582
特別損失		
固定資産除却損	775	2,713
減損損失	1,009	-
投資有価証券評価損	-	76,016
データセンター移転費用	-	27,344
特別損失合計	1,785	106,074
税金等調整前四半期純利益	201,387	162,166
法人税等	106,420	105,358
少数株主損益調整前四半期純利益	94,967	56,808
少数株主損失(△)	-	△128
四半期純利益	94,967	56,937

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	94,967	56,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,429	43,423
為替換算調整勘定	△33	△144
その他の包括利益合計	△48,462	43,278
四半期包括利益	46,505	100,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,469	100,273
少数株主に係る四半期包括利益	35	△186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,387	162,166
減価償却費	80,878	90,680
のれん償却額	55,796	57,210
減損損失	1,009	-
固定資産除却損	775	2,713
投資有価証券評価損益(△は益)	-	76,016
新株予約権戻入益	-	△10,582
貸倒引当金の増減額(△は減少)	944	693
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,579	6,993
受取利息及び受取配当金	△543	△609
為替差損益(△は益)	837	-
支払利息	2,871	2,233
持分法による投資損益(△は益)	1,694	1,276
売上債権の増減額(△は増加)	27,148	13,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△79,705	△9,712
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,407	△13,919
その他	1,775	△33,875
小計	298,043	344,849
利息及び配当金の受取額	543	609
利息の支払額	△2,867	△2,229
法人税等の支払額	△59,886	△107,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,833	235,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,073	-
有形固定資産の取得による支出	△12,720	△45,893
無形固定資産の取得による支出	△68,968	△57,445
投資有価証券の取得による支出	△48,390	-
長期前払費用の取得による支出	-	△22,153
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△23,124	-
その他	△5,263	△4,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,392	△130,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	6,480
長期借入金の返済による支出	△53,464	△61,478
自己株式の取得による支出	△101,332	-
自己株式の処分による収入	62,248	38,247
配当金の支払額	△37,799	△49,046
その他	390	△916
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129,957	△66,714
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△87
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△42,516	38,603
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,685	1,199,589
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	29,847	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,235,015	1,238,193

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	773,210	943,961	1,717,172	—	1,717,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,233	13,233	△13,233	—
計	773,210	957,195	1,730,406	△13,233	1,717,172
セグメント利益	312,815	47,616	360,432	△155,862	204,570

- (注) 1. セグメント利益の調整額△155,862千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	932,638	861,042	1,793,680	—	1,793,680
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29,691	29,691	△29,691	—
計	932,638	890,733	1,823,371	△29,691	1,793,680
セグメント利益	337,361	77,611	414,973	△156,729	258,243

- (注) 1. セグメント利益の調整額△156,729千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。